

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221531074	公衆栄養学Ⅱ Public Nutrition Ⅱ	小林 沙綾			2	必修	3前期
科目の概要							
<p>公衆栄養学は、地域や職域に属する社会集団の健康・栄養上の問題点を把握し、健康の保持・増進ならびに疾病予防を目的に、人々の食生活課題を地域的活動により解決していく学問である。</p> <p>本科目では、DP3に記載があるように疾病・疾病予防・食育に関する専門的知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することで社会に貢献し、地域や職域の人々と協働して課題を解決できる管理栄養士の育成を目指す。具体的には、「公衆栄養学Ⅰ」で学んだ基礎的事項をふまえ、栄養疫学、公衆栄養マネジメント、公衆栄養プログラムの展開についての理解を深める。また、公衆栄養学を活用していくための実践的な知識と応用力を習得し、DP2・4の通りに自立した社会人としてのスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を得た上で、人々の日常生活を健康面から支援できる人材を育成する。</p>							
学修内容				到達目標			
① 栄養疫学について理解する。 ② 公衆栄養マネジメントの流れを理解する。 ③ 公衆栄養プログラムの展開について理解する。				① 栄養疫学の意義・目的について、授業内で獲得した知識や用語を活用して説明できる。 ② 公衆栄養マネジメントで活用される理論を把握（獲得）し、それぞれの事例を列挙（活用）できる。 ③ これまでに獲得・活用した知識を基に、地域の諸問題を解決するための公衆栄養プログラムを作成（解決）できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標の達成に必要なとなる知識の習得に向け、自発的に課題に取り組み、疑問点の解決につなげることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	より深い学びにつなげられるよう、自ら学習目標を立て、意欲的に学習に取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	授業で生じた疑問点や課題の解決を目指し、自己学修により多くの知識の習得に励むことができる。					
	計画力						
	創造力	授業内で学習した理論や現状をふまえ、自らのアイデアを付加した意見を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	授業内で提示した課題について、自らの考えを他者にも分かりやすい表現にまとめることができる。					
	傾聴力	授業内容や他者の意見を丁寧に聞き、相手が伝えたい内容と自らの理解をすり合わせるすることができる。					
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動はせず、指示されたルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 公衆栄養学 公衆栄養活動の実践のための理論と展開 特定非営利活動法人日本栄養改善学会 監修 ／酒井徹・由田克士 編（医歯薬出版） 参考書：わかりやすいEBNと栄養疫学 佐々木 敏 著（同文書院）							
他科目との関連、資格との関連							
「公衆栄養学Ⅱ」は専門分野の公衆栄養学分野の科目の一部であり、「公衆栄養学Ⅰ」をはじめとした科目で獲得した知識・技術を活用する。また、「公衆栄養学Ⅱ」は、同時期に開講する「公衆栄養学実習」と併せて学修することでより理解を深める。							
資格との関連：栄養士、管理栄養士、栄養教諭一種							
学修上の助言				受講生とのルール			
学修する内容は、目の前の現実社会における課題と直結しています。それは食生活、栄養とどのように関わるのか、身近な情報源（ニュース等）を見てみましょう。				公衆栄養活動の実践には多くの科目が関連します。これまでに学修した科目との関連性を意識しながら授業に臨んでください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学 期 末 試 験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	授業内で紹介した内容を理解し、正しい回答ができるか、また自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。テキスト、資料、ノート等は全て持込不可とする。 【pisa型学力】獲得・活用・解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得(栄養疫学、公衆栄養マネジメントの知識)：80% 知識の活用(公衆栄養マネジメントの事例が列挙できる)：10% 知識の解決(地域の諸問題を解決できる公衆栄養プログラムが提案できる)：10%	
				②	✓		
				③	✓		
	平 常 評 価	小 テ ス ト		15	①	✓	前回の授業内容を理解できているかを確認するため、授業の冒頭に小テストを実施する。各小テストの点数を加点し判定する。 ・選択問題等の形式にて出題する。 ・出題範囲は、前回の授業で学修した内容とする。 ・小テストは採点后返却するため、復習に活用すること。 【pisa型学力】獲得・活用・解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得(栄養疫学、公衆栄養マネジメントの知識)：80% 知識の活用(公衆栄養マネジメントの事例が列挙できる)：10% 知識の解決(地域の諸問題を解決できる公衆栄養プログラムが提案できる)：10%
					②	✓	
					③		
		レ ポ ー ト		15	①	✓	「評価基準表（ルーブリック）」を用いて、レポートを評価する。レポート作成に関する説明の際に「評価基準表（ルーブリック）」を掲示する。なお、提出期限までにレポートを提出しなかった場合は、当該評価配点は0点とする。 【pisa型学力】獲得・活用・解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得(栄養疫学、公衆栄養マネジメントの知識)：10% 知識の活用(公衆栄養マネジメントの事例が列挙できる)：45% 知識の解決(地域の諸問題を解決できる公衆栄養プログラムが提案できる)：45%
					②	✓	
					③	✓	
成 果 発 表 （ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 作 品 制 作 等 ）		0	①				
			②				
			③				
学 修 行 動	社 会 人 基 礎 力 （ 学 修 態 度 ）		10	①	✓	（主体性）自発的に予習・復習に取り組むことができる。 （実行力）自ら学習目標を立て、その達成のために努力できる。 （課題発見力）授業で生じた疑問点や課題を自己学修により解決できる。 （創造力）授業内容をふまえ、自らのアイデアを付加した意見を考えられる。 （発信力）授業内で提示した課題について、自らの考えを他者にも分かりやすく述べることができる。 （傾聴力）授業をよく聞き、内容を理解することができる。グループワークにおいて、相手の意見を丁寧に聞き、相手が伝えたい内容と自らの理解をすり合わせるすることができる。 （規律性）欠席、遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動はせず、指示されたルールを守ることができる。また、課題の提出期限を守ることができる。	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>栄養疫学、公衆栄養マネジメント、公衆栄養プログラムの展開の実際を理解したうえで、それらを活用してワークの課題に取り組むことができる。「S」の場合には、将来の公衆栄養に資するマネジメントの枠組みの提案を科学的及び法的根拠を用いて示すことができる。</p>	<p>栄養疫学、公衆栄養マネジメント、公衆栄養プログラムの展開の実際を理解し、重要事項の用語を述べることができる。さらに「B」の場合には、学んだ事項に対して自身の解釈を述べるすることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	0. イントロダクション 1. 栄養疫学 (第1回) 1-1. 栄養疫学の概要① (栄養疫学の必要性と意義)	講義 グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養学Ⅱの大まかな学修スケジュールについて説明できる。 栄養疫学の意義・目的について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる。	(予習) 公衆栄養学Ⅰで学修した内容を確認し、本科目のシラバスを読んでおく。 教科書のp117-118に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	主体性 課題発見力 計画力 傾聴力
2	1. 栄養疫学 (第2回) 1-2. 栄養疫学の概要② (曝露要因としての食事摂取量)	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	栄養疫学における誤差や個人内変動・個人間変動について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる。	(予習) 教科書のp118-121に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	創造力 傾聴力
3	1. 栄養疫学 (第3回) 1-3. 食を調べるということ (疫学的手法・栄養疫学の調査内容)	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	食・栄養を調べる際に使用する疫学的手法について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp121-124に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
4	1. 栄養疫学 (第4回) 1-4. 食事摂取量の測定方法	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	食事摂取量の測定方法を、少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp118-121を復習する。 教科書のp124-128に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
5	1. 栄養疫学 (第5回) 1-5. 食事摂取量の評価方法	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	食事摂取量の評価方法について、少なくとも一つ活用できる。	(予習) 教科書のp124-128に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
6	2. 公衆栄養マネジメント (第1回) 2-1. 公衆栄養マネジメントの概要	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養マネジメントについて、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp129-135に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
7	2. 公衆栄養マネジメント (第2回) 2-2. 公衆栄養アセスメント①	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養アセスメントの目的について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。 公衆栄養アセスメントとしての食事摂取基準の活用について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp135-142に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	発信力 傾聴力
8	2. 公衆栄養マネジメント (第3回) 2-3. 公衆栄養アセスメント②	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養アセスメントとしての社会調査の方法について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp142-147に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	2. 公衆栄養マネジメント (第4回) 2-4. 公衆栄養プログラムの目標設定	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養プログラムの目標設定について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp147-156に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
10	2. 公衆栄養マネジメント (第5回) 2-5. 公衆栄養プログラムの計画・実施・評価 ①	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養プログラムの計画・実施・評価にあたり、留意すべき点を少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp157-167に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
11	2. 公衆栄養マネジメント (第6回) 2-6. 公衆栄養プログラムの計画・実施・評価 ②	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養プログラムの計画・実施・評価にあたり、留意すべき点を少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp167-174に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
12	3. 公衆栄養プログラムの展開 (第1回) 3-1. 地域特性に対応したプログラムの展開	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養プログラムの事例ならびに関連する制度について、少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp175-190に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
13	3. 公衆栄養プログラムの展開 (第2回) 3-2. 食環境整備のためのプログラムの展開	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養プログラムの事例ならびに関連する制度について、少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp190-199に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
14	3. 公衆栄養プログラムの展開 (第3回) 3-3. 地域集団の特性別プログラムの展開	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養プログラムの事例ならびに関連する制度について、少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp201-213に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
15	まとめ	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養学Ⅱで学んだ内容について、少なくとも三つ列挙できる。	(予習) 教科書のp117-213に目を通す(今までの学修内容を復習する)。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	主体性 課題発見力 計画力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力